



中層木造建築物の耐震性能に関する研究

総合理工学部 建築デザイン学科 教授 中村 豊

近年、森林資源の有効活用のため、建築分野での木材利用の促進が求められています。2010年の公共建築物等木材利用促進法の施行によって、大断面集成材を用いた中層木造建築物が増えています。一方で日本は世界有数の地震国であるため、中層木造建築物についても大地震時に安全が確保できる耐震性能が求められます。

大断面集成材を用いた中層木造建築物では、柱と梁のつなぎ目に鋼板と鉄製のピンを用いた接合方法が使われることがあります。本研究室では、この接合部の性能が中層木造建築物の耐震性能にどのように影響しているかをコンピューターを用いた解析によって明らかにする研究を行っています。そして十分な耐震性能を確保するための接合部の設計について検討しています。

これらの研究成果が、地震国においても安全・安心に長く「住み続けられるまちづくり」に貢献できることを期待しています。

